

在宅医療・介護多職種連携協議会  
研修部会

～報告～

平成28年6月30日

## 目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

- 顔の見える関係会議や在宅医療研修の内容について検討
- その他の研修（各団体主催研修会の連携・調整など）  
について検討

# 第1回 研修部会報告(平成28年5月20日)

## 1 平成28年度顔の見える関係会議について

平成27年度第2回研修部会の意見をもとに、平成28年度顔の見える関係会議の方向性やテーマ, 運用について検討・確認

○今年度の方向性 「横に広げる, 単発, 新たな取り組み」

○ファシリテーター

在宅医療多職種連携研修会と顔の見える関係会議出席者より  
各団体新たなファシリテーター1~2名を選出し40名とする

## 2 第1回顔の見える関係会議について

介護・福祉系 「認知症」をテーマにグループワークの内容や進行等を検討  
⇒【テーマ】「認知症の早期発見・早期対応に向けて多職種ができること」

## 3 各団体の研修会等について

- ・今後の多職種連携の推進のための研修のあり方について
- ・各団体の計画している研修会等活動内容の共有化

## 平成28年度活動内容(予定)

### <顔の見える関係会議>

- ・第2回顔の見える関係会議(通算18回目)  
日 時:平成28年8月25日(木)午後7時から午後9時  
テーマ:医療系「(案)緩和ケア病棟と在宅チームの連携」
- ・第3回顔の見える関係会議・エリア別(通算19回目)  
日 時:平成28年秋頃「(案)高齢者の救急搬送について」
- ・第4回顔の見える関係会議(通算20回目)  
日 時:平成29年2月16日(木)午後7時から午後9時  
テーマ:アドバンス研修「(案)意思決定支援について」

### <在宅医療多職種研修会>

- (第1日)平成28年 9月25日(日)
- (第2日)平成28年10月16日(日)

### <部会>

- 第2回:平成29年3月10日(金)
- (内容)平成28年度活動の評価と平成29年度活動への提案

# 第1回(通算17回目)顔の見える関係会議報告

◎第1回(通算17回目) 顔の見える関係会議

開催日時:平成28年6月23日(木) 午後7時~9時

内容:①グループワーク『認知症の早期発見・早期対応に向けて多職種ができること』

②ミニレクチャー『認知症の診立てについて』

『かしわ認知症オレンジパスについて』

新たな参加者の割合 47%!

参加者:総数201名

医師21名(診療所19名,病院2名), 歯科医師11名・歯科衛生士1名

薬剤師12名, 看護師19名(訪問看護9名, 病院診療所10名)

医療ソーシャルワーカー12名, 精神保健福祉士2名, 管理栄養士4名

介護支援専門員10名, 地域包括支援センター職員14名, リハビリ職9名

介護サービス事業者44名(介護老人保健施設3名, 介護老人福祉施設4名,

有料老人ホーム1名, サービス付高齢者住宅6名, ケアハウス1名, グループホーム3名,

小規模多機能型居宅介護6名, 定期巡回・随時対応型訪問介護看護2名, 通所介護・訪問介護18名)

その他22名, 東京大学2名, 柏市職員18名

グループワークの様子



グループワーク例



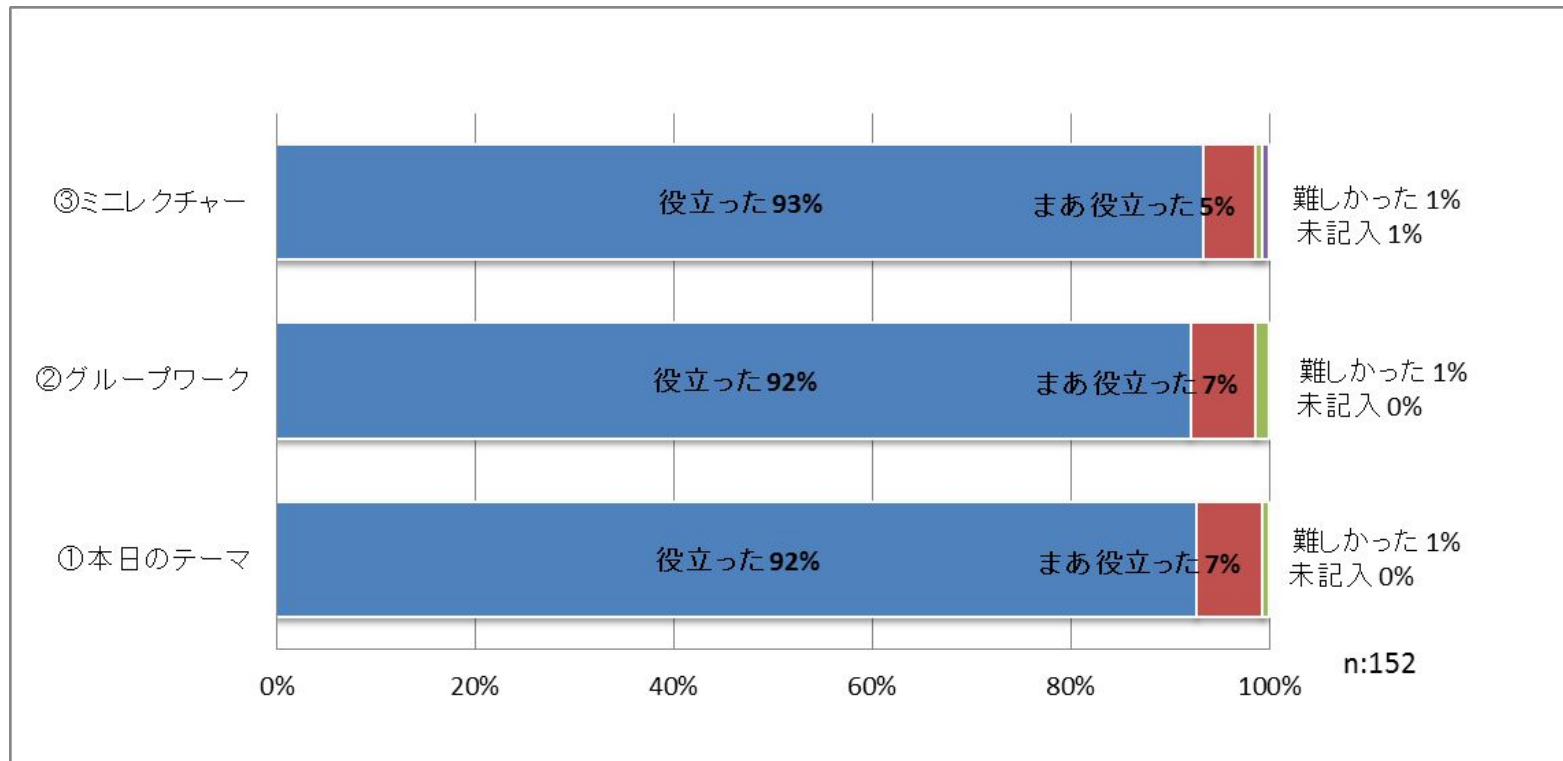
# 内容について

## ①本日のテーマ ②グループワーク

『認知症の早期発見・早期対応に向けて多職種ができること』

## ③ミニレクチャー

『認知症の診立てについて』 『かしわ認知症オレンジパス』



アンケートの結果、それぞれの内容について、  
約98%以上の方が「役立った」「まあ役立った」と回答した

# 会議内容等に関する感想・意見等(抜粋)

診療所医師	改めて多職種が関わり、重層的な支援が可能となることを知ることができた。
歯科医師	大勢の方が専門的に関心を持っていることに勇気付けられた。今後の地域医療において、大変参考になった。
薬剤師	断片的理解を改めて知識とすることができた。業務中の「気づき」に活かしたい。
病院看護師	それぞれの職種が見る視点が違うことに気づくことができた。多職種で関わることで早期発見につながると感じた。
病院ソーシャルワーカー	医療機関では気付けない事例等、認知症の早期対応に連携が非常に重要であると再認識できた。
訪問介護・通所介護	初めて参加し、活発なグループワークを楽しみながらできた。今後も定期的に参加したい。多職種が関わることがあまりないので顔が見えると身近に感じられ連携しやすいと感じた。
グループホーム	認知症の方がどうすれば地域で暮らせるかのヒントになった。
サービス付高齢者住宅	認知症の方への対応を手探りで行っているので、多職種の方々から意見をいただくことができた。
その他(ケアラーサポーター)	様々な職種の方の観点を体感できた。またぜひ参加したい。

**認知症を早期発見するための気づきの視点を知り、早期対応のために多職種ができることを共有する場となった。**



# 第8回 柏市 在宅医療推進のための 地域における多職種連携研修会

日程：平成28年9月25日(日)、10月16日(日)

場所：柏地域医療連携センター 主催：柏市医師会、柏市

内容：

## (1日目)平成28年9月25日終日

- ・柏市における在宅医療の取り組み
- ・多職種連携協働：IPW(講義)
- ・在宅生活を支える多職種プレゼンテーション
- ・認知症の行動心理徴候の基本的理解  
(講義・GW)
- ・摂食・嚥下障害の基礎的知識と対応(講義)
- ・柏市における在宅での口腔ケア(講義)
- ・在宅での褥創ケア(講義)
- ・柏市における訪問リハビリテーション(講義)
- ・**グループワーク**  
(**口腔ケア・褥瘡ケア・訪問リハビリテーション**)
- ・意見交換会

## (2日目)平成28年10月16日終日

- ・**退院時共同指導 ご家族の体験談(講義他)**
- ・がんの疼痛緩和(講義・GW)
- ・高齢者の包括的介護予防・フレイル予防  
(講義)
- ・本人・家族の選択と心構えをどう支えるか  
(講義・GW)
- ・一般開業医が取り組む訪問診療の実際  
(講義)
- ・在宅医療を推進する上での課題とその対策  
(GW)
- ・修了証書授与

\* GW:グループワーク

- (**実地研修**) ・医師のみ概ね3時間程度/回。原則として、研修1日目と2日目の期間で1回実施
- ・過去の実地研修場所(訪問診療・訪問看護・ケアマネ同行、緩和ケア病棟)